

# ABC of 臨床 コミュニケーション

医療をスムーズにする“伝える/聞き取る”技術



contents

原書の序	Nicola Cooper, John Frain	3
訳者のことば	坂本 壮	5

## Chapter 1 臨床でコミュニケーションが重要な理由 12

John Frain

1 臨床コミュニケーション－歴史的観点－	12
2 コミュニケーションが患者の予後に及ぼす影響	17
3 トレーニングとフィードバック	18
4 医療従事者同士のコミュニケーション	19
5 書面での記録	19
6 思いやのある環境	20
7 おわりに	21

## Chapter 2 診察 23

Jonathan Silverman

1 はじめに	23
2 根拠に基づくコミュニケーション (Evidence-based communication)	25
3 診察のモデル	26
4 実際の例	30
5 おわりに	32
6 謝辞	32

## Chapter 3 コミュニケーションとパーソナリティータイプ 33

Gillian B. Clack

1 はじめに	33
2 Jung理論	34
3 医者の好みは異なるのか？	38

<b>4</b>	タイプの違いがどのようにコミュニケーションに関係しているのか.....	39
<b>5</b>	謝辞.....	42

## Chapter4 共有意思決定 ..... 44

John Frain and Andy Wearn

<b>1</b>	はじめに.....	44
<b>2</b>	SDMとは何か?.....	46
<b>3</b>	SDMとEBM.....	48
<b>4</b>	リスクに関する情報の伝達.....	49
<b>5</b>	SDMを促すための戦略.....	49
<b>6</b>	SDMへのステップ.....	50
<b>7</b>	患者への情報提供.....	52
<b>8</b>	医療従事者のトレーニングと開発のニーズ.....	53

## Chapter5 臨床チームにおけるコミュニケーション ..... 58

Alison Cracknell and Nicola Cooper

<b>1</b>	はじめに.....	58
<b>2</b>	人的要因(human factors).....	59
<b>3</b>	チームコミュニケーションの最適化.....	64
<b>4</b>	おわりに.....	68

## Chapter6 医療記録におけるコミュニケーション ..... 70

Nigel D.C. Sturrock

<b>1</b>	総合医学評議会(General Medical Council)の見解.....	71
<b>2</b>	診療の国民保険サービスコード.....	71
<b>3</b>	医療記録の保持と死亡率のデータ.....	74
<b>4</b>	医療記録の保持と診療報酬.....	75
<b>5</b>	優れた医療記録を保持するための簡単なヒント.....	75
<b>6</b>	紹介状と退院サマリー.....	76
<b>7</b>	医療記録管理の法的側面.....	76
<b>8</b>	多職種の記録.....	77
<b>9</b>	引継ぎツールとしての医療記録.....	78
<b>10</b>	電子患者記録.....	79
<b>11</b>	個人用記録(PHR).....	80
<b>12</b>	おわりに.....	80

## Chapter 7 特殊な環境における発展的コミュニケーション ..... 82

Nivedita Aswani, Vanessa Cox and Julia Surridge

① 小児の診察	82
② 困難な態度:怒りっぽい暴力的な患者	84
③ 言葉の壁	85
④ 保護に関する懸念の調査	87
⑤ 青少年, 危険行動, 同意および機密性	89
⑥ 慢性疾患	91
⑦ それ以外の困難を抱えるグループ	94
⑧ おわりに	95

## Chapter 8 コミュニケーションとメンタルヘルス(精神的健康) ..... 96

Lee Smith

① はじめに	96
② 信頼, 尊敬, ラポール	97
③ 簡単な日常での効果的なコミュニケーション	98
④ 背景を理解する	100
⑤ 世界観, 文化, 分類	101
⑥ 不安の特定と軽減	102
⑦ コミュニケーションにおける衝突を解決する	105
⑧ 認知症およびせん妄におけるコミュニケーション	107
⑨ おわりに	108

## Chapter 9 終末期のコミュニケーション ..... 109

Adam Walczak, Phyllis Butow and Josephine Clayton

① はじめに	109
② 終末期コミュニケーションのタイミング	110
③ 終末期の話し合いの準備	112
④ 患者と介護者に力を与える	112
⑤ 異なる情報のニーズに対処する	113
⑥ 緩和ケアについて話し合う	114
⑦ 余命について話し合う	115
⑧ アドバンス・ケア・プランニング	115
⑨ Do not attempt CPR : DNAR	116
⑩ おわりに	118

<b>Chapter10 臨床におけるコミュニケーションの指導</b>	120
John Frain and Magdy Abdalla	
1 はじめに	120
2 学生の参加	121
3 臨床コミュニケーションは教わることができる	122
4 カリキュラムの計画 - モデルの選択	123
5 セッションを定義する - 何を教える必要があるか?	126
6 指導のためのグループ	128
7 フィードバック	130
8 模擬患者の役割	130
9 手段と内容の融合	130
10 プレゼンテーション能力	133
11 経験的な専門家間学習におけるこのモデルの役割	134
12 おわりに	134
13 謝辞	134
<b>推薦書籍・論文・ウェブサイト</b>	136
<b>索引</b>	139